

No. 1683

# アイヌ民族議員初登院

—— 参議院 ——

社会党松本英一参議院議員の死去により繰り上げ当選となった萱野茂さん68歳に8月8日社会党本部で当選証書の授与が行われました。つづいて国会に向い参議院正門議員受付所へ。女子職員から議員バッジをつけてもらい初のアイヌ民族出身の国会議員が誕生しました。そのあと自分の名札のボタンを押して初登院。萱野議員は記者会見で「アイヌ民族の先住民族としての権利を認める「アイヌ新法」を早く成立させたい」と強い意欲を見せていました。

# 第10回国際エイズ会議

—— 横浜 ——

「地球規模でエイズに挑む・未来のために力を合せて」をスローガンに第10回エイズ国際会議の開会式が横浜市の国立横浜国際会議場（パシフィコ横浜）で8月7日に開かれました。アジアで初の今回の会議には世界128ヶ国から医者、研究者、ボランティアなど参加者は1万人を超え、患者、感染者も約1500人が参加しました。皇太子殿下のあいさつのもと村山首相は政府としてWHO（世界保健機構）のエイズ対策事業への支援など国際協力に取り組むことを表明しました。演壇ではエイズ撲滅のための積極的発言が行われました。日本人の感染者を代表して大石敏寛さん25歳は「日本ではまだエイズに対して根強い差別と偏見がある」と主張したあと「患者・感染者は立ち上がって下さい」と呼びかけました。場内から40人以上の人が立ち上がり満場の参加者から励ましの拍手が起こりエイズとの闘いに共感の輪が広がりました。港に面した臨海パークの芝生には日本のボランティアの呼びかけに応じて世界から集まったメモリアルキルトが展示されています。エイズで亡くなった人が大切にしていたものを縫い込んだキルトは15ヶ国から640枚届けられ、死者への悲しみを新たにしていました。大きなキルトは展示ホール2階にも飾られていました。この作業にはボランティア1000人が暑さの中協力しました。会議での研究発表が続けられる中展示ホールでは各国のブースが並びエイズに関するポスター、パンフレット、薬品などが会場につめかけた人々に紹介、配付されました。世界保健機構（WHO）のまとめでは今年の7月までに98万人の患者が発生し実際には患者はその4倍、感染者は大人で1600万人、子供で100万人と推計しています。未だ特効薬、ワクチンもなく感染は地球規模で拡大してゆくエイズ。今一人ひとりが自分の問題としてエイズとどう取り組むか考える機会といえそうです。